

砂防堰堤（国土交通省による施工）

既設の砂防堰堤に溜まった土砂が除去され、新たに高さ13mの砂防堰堤が建設されました。今後、県が堰堤下流の溪流保全（護岸）や管理用道路の整備を進めます。

■堰堤に溜めることができる土砂の量

既設砂防堰堤	約4,000m ³
新設砂防堰堤	約10,000m ³
合計	約14,000m ³



雨量基準による通行止めに関するお知らせ

この砂防堰堤の整備と源頭部の土砂撤去が完了したことにより、土石流災害を受けて行っていた国道135号及び市道伊豆山神社線を対象にしていた逢初川に関する通行止めの基準は廃止しました。今後は、従来からの国道135号伊豆山から門川までの雨量による交通規制のみが継続されます。（積算雨量150mm：通行注意、積算雨量200mm：通行止め）

もっと詳しく知りたいときは・・・

逢初川の復旧に関するご意見、ご質問は、以下のお問合せ先までお気軽にお問合せください。なお、その他の詳しい資料は、熱海土木事務所ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<お問合せ先>

静岡県熱海土木事務所伊豆山地区復興支援課・企画検査課
〒413-0016 熱海市水口町13番15号
TEL 0557-35-9267 / 0557-82-9171
FAX 0557-82-9110



公式HP



ツイッター

逢初川だより

第18号
令和5年10月

～静岡県は、一日も早い復旧、復興を目指し、全力で逢初川の工事等を進めます～

静岡県熱海土木事務所 広報誌

逢初川源頭部の土砂撤去工事が完了し、地域の皆様に公開しました。

令和3年7月の土石流災害によりお亡くなりになられました方々の御冥福を心よりお祈りするとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

今なお多くの方が避難先での生活を続けられておりますが、熱海土木事務所では、被災した地域の安全を確保するため、逢初川の復旧や源頭部の不安定土砂の撤去を進めてまいりました。

行政代執行による逢初川源頭部の不安定土砂の撤去工事は、8月26日に完了したため、8月31日に、国土交通省が施工した砂防堰堤とともに、地域の皆様に現場を見学していただきました。

この土砂撤去工事の完了と砂防堰堤の完成を受けて、熱海市は令和5年9月1日に災害対策基本法に基づき設定した警戒区域を解除しました。

逢初川源頭部の行政代執行箇所及び新設砂防堰堤の現地公開の概要について

開催日時	① 令和5年8月31日（木）10時から12時 <午前の部> ② " 13時から15時 <午後の部>
場 所	熱海市伊豆山 逢初川源頭部 及び 新設砂防堰堤
参加者	① <午前の部> 51名 ② <午後の部> 37名 計 88名
公開ルート	逢初川源頭部 → 新設砂防堰堤 （マイクロバスで移動）
説明内容	1) 行政代執行について（県盛土対策課） 2) 土砂撤去工事について（県熱海土木事務所） 3) P部の盛土について（県盛土対策課） 4) 第2、第3の盛土について（県東部農林事務所） 5) P部の産業廃棄物について（県廃棄物リサイクル課）



源頭部の公開状況（8月31日）

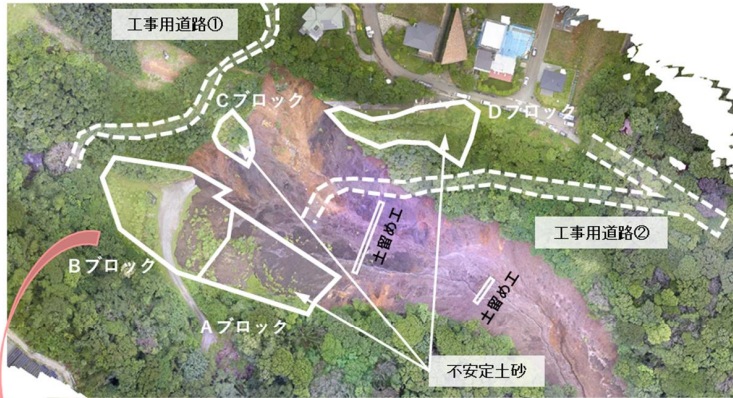


砂防堰堤の公開状況（8月31日）

源頭部の土砂撤去工事（行政代執行）

行政代執行による逢初川源頭部の不安定土砂の撤去工事が、8月26日に完了しました。

【施工前】



【施工後】



↑ 源頭部土砂撤去工事完了（令和5年8月8日撮影）

【施工前】



↑ 源頭部土砂撤去工事着手前（令和5年1月18日撮影）

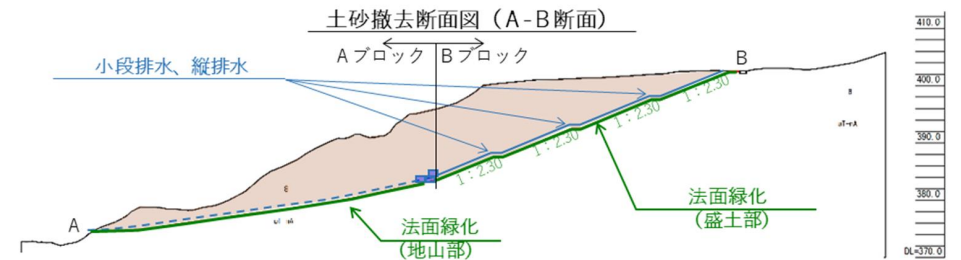
【施工後】



↑ 源頭部土砂撤去工事完了（令和5年9月21日撮影）

土砂掘削（施工前後写真の白枠で囲まれた範囲）：約19,000m³

A～Dブロックでは、不安定土砂を掘削し、熱海港の仮置き場に運搬しました。熱海港に運搬した土砂は、熱海港から最終処分場に運搬する作業を進めています。



法面緑化（施工後写真の斜面が白っぽく見える範囲）

土砂撤去後の法面の安定を図るため、法面を緑化する工事を実施しました。Bブロックは盛土が残っているため、雨が降っても表面が削られないよう植生マットによる保護を行いました。A・C・Dブロックは、地山の植生を早期に回復させるため、草木の種子、肥料等を混ぜたものを吹付けました。

植生マット

草木の種子や肥料を組み込んだ法面保護シート。

源頭部上部の施工状況
↓（令和5年7月21日撮影）

種子吹付

草木の種子や肥料などを混合して法面に吹付ける工法。

小段

法面に降った雨水が集まるため、流水に対して補強された流水対応植生マットを使用。

縦排水

法面に降った雨水が集まり下流に流れるため、流水対応植生マットに鋼製の網を被せて補強。

